

平成29年度 農林水産物直売所実態調査結果の概要

本調査は、県内の農林水産物直売所の活動実態を把握することを目的として、平成29年7月に実施したものです。調査時点は、平成29年3月末現在です。

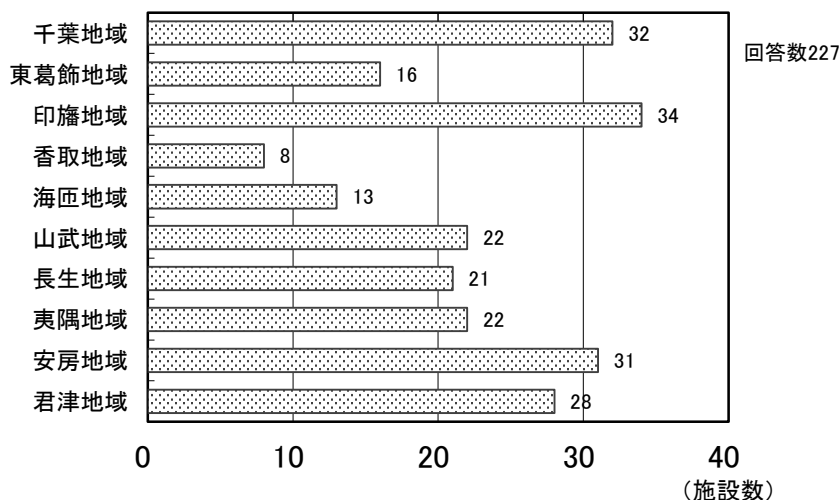
1. 施設数、出品農林漁家数、売り場面積、年間購入者数、年間販売額の状況

県内には227の直売所が運営されており、平成28年度(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)の年間販売額は、回答を得た189施設で254億円余りにのぼり、1箇所当たりの平均販売額は、約1億3千4百万円となった。

調査年度	施設数 (箇所)	出品農林漁家数 (戸)	売り場面積 (㎡)	年間購入者数 (千人)	年間販売額 (百万円)
29年度	227	20,180	37,800	18,080	25,492
		(回答数216)	(回答数223)	(回答数189)	(回答数189)
1箇所当たり	-	93.4	169.5	95.7	134.8

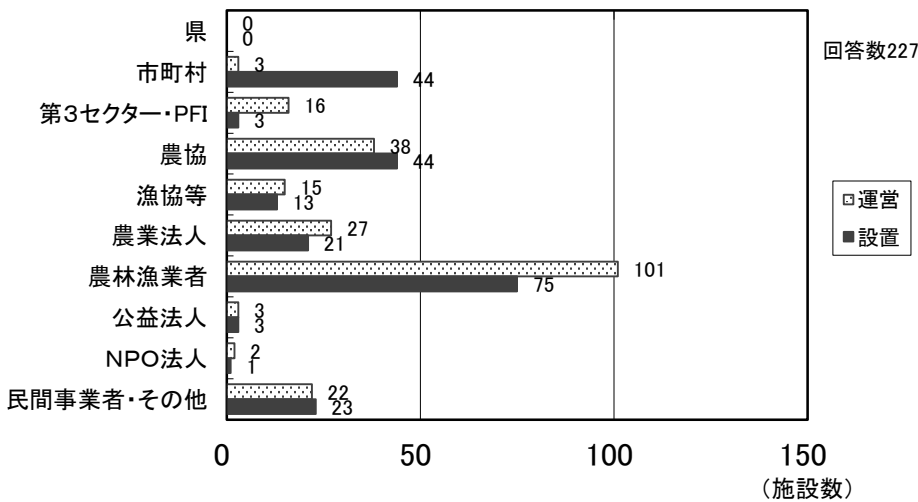
2. 地域別設置状況

千葉・印旛・安房・君津地域では多くの直売所が設置され、香取・海匝地域では少ない。



3. 設置・運営主体

農林漁業者の任意団体で運営している施設が、全体の44.5%を占めている。



調査対象

農林水産物を消費者に直接対面で販売する有人施設で、次のいずれにも該当する施設
 ア 県、市町村、公益法人、第3セクター・PFI、農協・漁協等、農業法人、NPO法人、3戸以上の生産者が設置又は運営している施設(民間事業者が運営する場合、役員の半数以上が農林漁業者であること)
 イ 建物があり、常設・通年営業(土日の営業のみを含む。)の施設

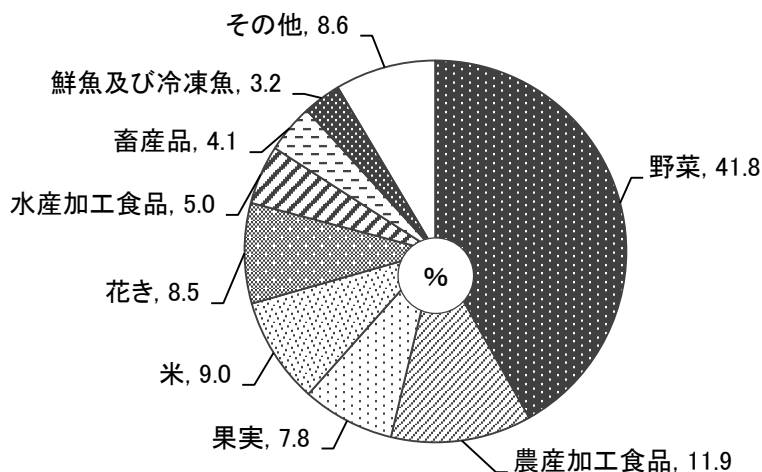
調査時点

平成29年3月31日
 年間購入者数及び年間販売額については、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの実績
 (年間購入者数及び年間販売額は、報告があっても調査期間の途中で新設又は廃止している直売所の実績は除外した。)

4. 販売額の品目別割合

直売所の総販売額の41.8%を野菜が、11.9%を農産加工食品が占めている。

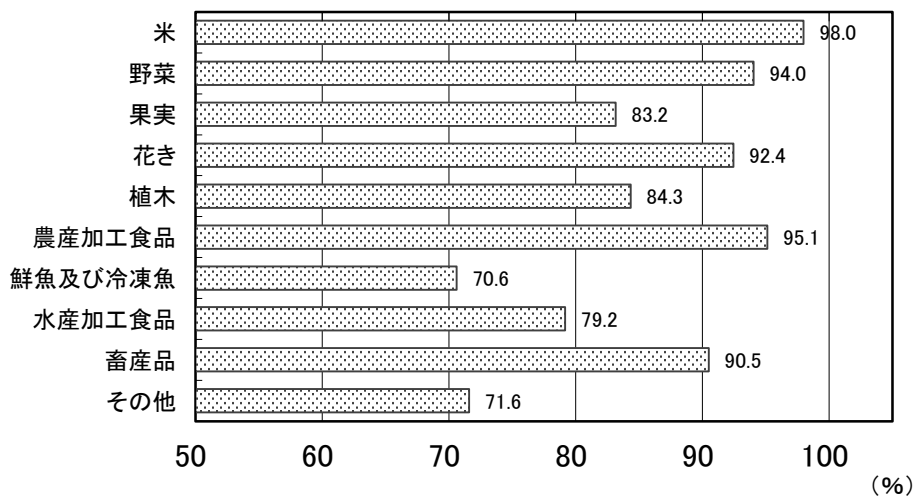
回答数222



5. 品目別の県産品取扱状況

米の県産品率は98.0%であり、農産加工食品95.1%、野菜94.0%、花き92.4%となっている。

回答数223

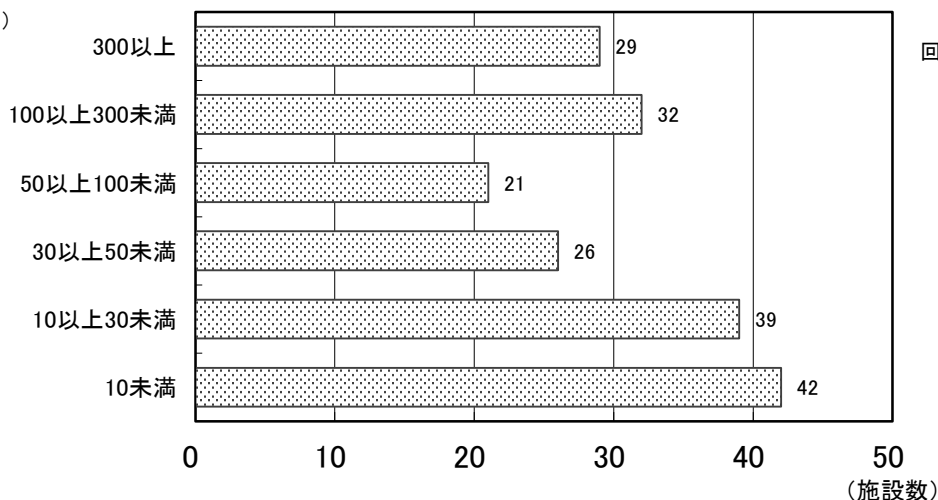


6. 年間販売額別の施設数

年間販売額は、1千万円未満から3億円を超える直売所まで幅広い。

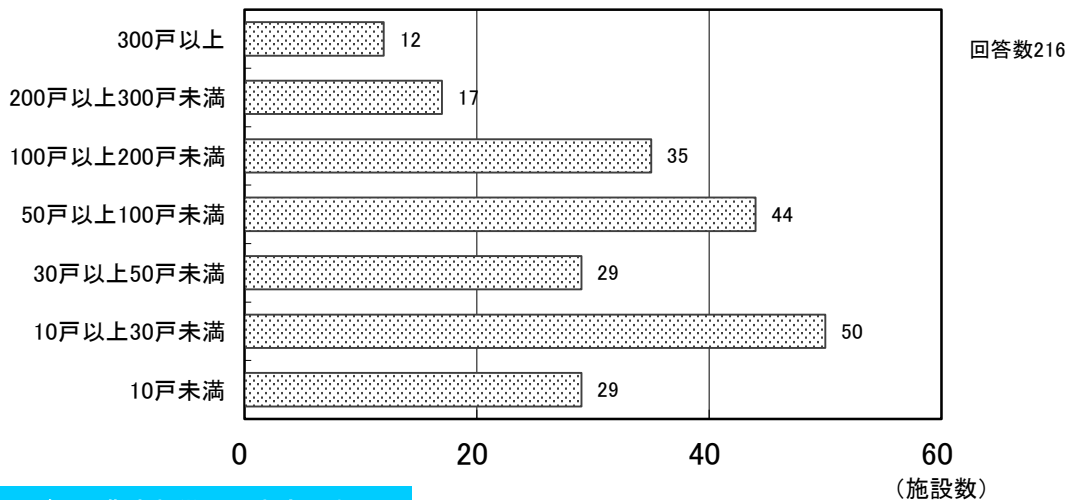
(百万円)

回答数189



7. 出品農林漁家数

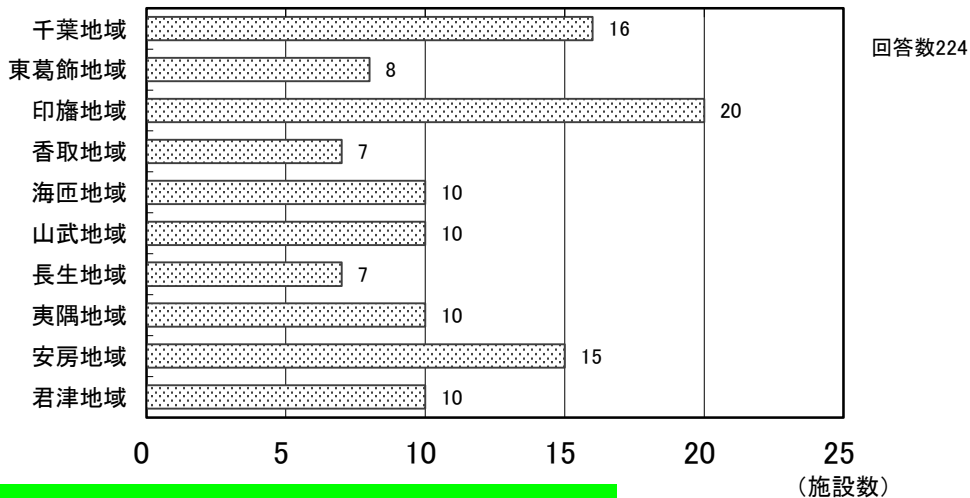
10戸以上30戸未満が50箇所でも多く、300戸以上の農林漁家が出品する大規模な直売所は12箇所ある。



8. ちばエコ農産物※取扱直売所数

ちばエコ農産物は、113箇所(回答施設の50.4%)で取り扱われており、昨年度に比べ2箇所減少した。

※ ちばエコ農産物:化学合成農薬と化学肥料を通常の半以下に減らして栽培された農産物



〔参考〕施設数、平均年間購入者数、平均年間販売額の推移

施設数はほぼ横ばいであり、1箇所当たりの平均年間販売額及び平均年間購入者数の伸びは、平成20年度調査以降は鈍化傾向にある。

